

被曝した作業員の労災認定は？

原発はおよそ一年に一度、運転を停止し数ヶ月間の定期検査をする。2千から3千人の労働者が線量計をつけて作業するのだが、1966年の東海村で原子力発電が始まって約半世紀、被曝によるがんと労災認定されたのは1999年のJCO臨界事故の3人を除けば、わずかに10人だ。

下の表に示すようにこれまで放射線被曝で労災が認定された一番低い線量が5mSvだ。今回の福島原発事故から2013年7月現在、この値を超えた人は13808人にのぼる。年間の制限値50mSvを超え人が1482人、一番被曝した人はなんと最大678.8mSvだ。

これまでに認定された被ばく労災

原発で業務に従事した労働者のがんに関する労災認定状況(1976年以降10人)

	申請年月日	決定年月日	病名	被曝線量	施設名
1	1988.09.02	1991.12.26	慢性骨髄性白血病	40.0mSv	福島第一
2	1992.12.14	1994.07.27	急性骨髄性白血病	72.1mSv	玄海、大飯、高浜
3	1993.05.06	1994.07.27	慢性骨髄性白血病	50.63mSv	浜岡
4	1998.12.22	1999.07.30	急性リンパ性白血病	129.8mSv	東海、島根、福島第1
5	1999.11.20	2000.10.24	急性単球性白血病	74.9mSv	福島第1、第2、東海第2
6	2003.01.31	2004.01.13	多発性骨髄腫	70.0mSv	福島第1、浜岡
7	2005.10.	2008.10.27	悪性リンパ腫	99.76mSv	泊、敦賀、伊方、高浜、美浜、大飯、玄海
8	?	?	白血病	5.2mSv	?
9	?	?	多発性骨髄腫	65mSv	?
10	?	?	悪性リンパ腫	78.9mSv	?

東海村JCO臨界事故による労災認定(3人)

	申請年月日	決定年月日	病名	被曝線量	施設名
1	1999.10.20	1999.10.26	急性放射線症	16~20Sv(17)	JOC東海事業所
2	1999.10.20	1999.10.26	急性放射線症	6~10Sv(10)	JOC東海事業所
3	1999.10.20	1999.10.26	急性放射線症	1~4.5Sv(3)	JOC東海事業所